

令和 3 年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会
活動報告

令和3年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告

1 設 立 平成27年7月28日

2 委 員 19名

(敬称略・五十音順)

	氏 名	所 属		氏 名	所 属
1	阿部 行宏	新潟市医師会 理事/山の下地域包括ケアネット 代表	11	中川 恵子	新潟県訪問看護推進協議会 常任理事
2	阿部 葉子	在宅ケアクリニック川岸町 ケアマネジャー・MSW	12	中山 裕子	新潟県理学療法士会 副会長
3	池田 貴之	新潟市社会福祉協議会 地域福祉課地域活動支援係 係長	13	成瀬 聡	総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 在宅医療・介護連携ステーション中央第二
4	伊藤 明美	新潟市薬剤師会 副会長	14	野本 優二	新潟市市民病院 緩和ケア内科部長
5	井上 正則	新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会 委員長	15	平澤 貴典	新潟市歯科医師会 理事
6	小山 弓子	新潟市地域包括支援センターあじかた 管理者	16	宮崎 則男	新潟県介護福祉士会 会長
7	斎藤 忠雄	在宅医療連携拠点事業実施者 在宅医療・介護連携ステーション中央	17	横田 樹也	新潟市医師会 理事
8	鈴木 一郎	新潟大学医歯学総合病院地域保健医療推進部 副部長・准教授	18	和 澄 徹	新潟市民生委員児童委員協議会連合会 理事
9	豊嶋 直美	山潟地区コミュニティ協議会 会長	19	渡邊 敏文	新潟医療福祉大学 地域連携推進センター長 教授
10	永井 博子	新潟県訪問看護推進協議会 会長			

3 事務局

新潟市保健衛生部地域医療推進課

4 協議会の役割

当協議会は次の事項について意見を述べる。

- (1) 新潟市医療計画の進捗状況、具体策の協議に関すること
- (2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要な施策に関すること

5 組織体系

当協議会は「全体会」と「在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ」で構成する。
ワーキンググループは、必要に応じてオブザーバーを招致する。

令和3年度 体系図

全 体 会

<協議事項>

- (1) 新潟市医療計画の進捗状況、具体策の協議に関する事
- (2) 在宅医療・介護連携の推進のために必要な施策に関する事

<委員> 19名 (◎会長1名、○副会長2名、委員16名)

阿部 行宏 阿部 葉子 池田 貴之 伊藤 明美 井上 正則 小山 弓子
 斎藤 忠雄 鈴木 一郎 豊嶋 直美 永井 博子 中川 恵子 中山 裕子
 成瀬 聡 野本 優二 平澤 貴典 ○宮崎 則男 ○横田 樹也 和澄 徹

◎渡邊 敏文

在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ

<協議事項>

在宅医療・救急医療の関係者間で個人の医療に関する情報や医療・ケアに関する希望などの意思を共有するための連携ルール構築に関する事

<メンバー> 7名 (50音順、○座長)

○横田 樹也 阿部 葉子 宮崎 則男 (協議会委員)

斎川 克之 (新潟市在宅医療・介護連携センター)

村上 宏 (新潟市消防局救急課)

原田 宏一 (新潟県弁護士会)

広瀬 保夫 (新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター)

6 開催経過

○全体会 3回

○在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ 3回

開催日	会議名	委員出席人数
R3. 7. 1(木)	第1回 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ	7人
R3. 7. 20(火)	第1回 全体会	18人
R3. 11. 30(火)	第2回 全体会	7人
R3. 12. 10(金)	第2回 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ	19人
R4. 2. 21(月)	第3回 在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ	7人
R4. 3. 22(火)	第3回 全体会	18人

7 協議事項

全体会

第1回

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業実績報告
 - (2) 在宅医療提供体制に関する実態・意識調査結果について
 - (3) 地域医療を支える人材確保への取組みについて
 - (4) 在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業について
 - (5) 第2期新潟市医療計画の策定について
- その他（情報交換）在宅療養者のワクチン接種状況等について

第2回

- 話題提供 地域医療提供体制に関する実態・意識調査について
- (1) R3年度在宅医療・介護連携推進事業実績報告
 - (2) 地域医療を支える人材確保への取組みについて
 - (3) R4年度在宅医療・介護連携推進事業計画（案）

第3回

- (1) 令和3年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告
- (2) 令和4年度新潟市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画
- (3) 地域医療を支える看護人材確保事業について
- (4) 将来の在宅医療の必要量（資源数）調べについて

在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ

第1回

- (1) 進捗状況報告
- (2) 市民ワークショップ（医療・介護の市民講座）、専門職意思決定支援研修会について
- (3) 今後の予定

第2回

- (1) 進捗状況報告および今後の予定
- (2) 協議

第3回

- (1) 進捗状況報告および今後の予定
 - ①医療と介護の市民講座 ②意思決定支援研修会 ③にいがた救急連携シート
- (2) 協議

新潟市在宅医療・介護連携センター&ステーション相談事業状況

(2021年4月1日～2022年2月28日)

1. 相談件数

*相談者の地区別内訳

	2019年度	2020年度	2021年度 (11ヶ月分)
北区	10	3	2
東区	27	16	14
中央区	49	44	37
江南区	10	12	8
秋葉区	14	19	21
南区	14	18	6
西区	54	54	42
西蒲区	14	7	10
市外県外	8	5	1
不明	1	1	3
計	201	179	144

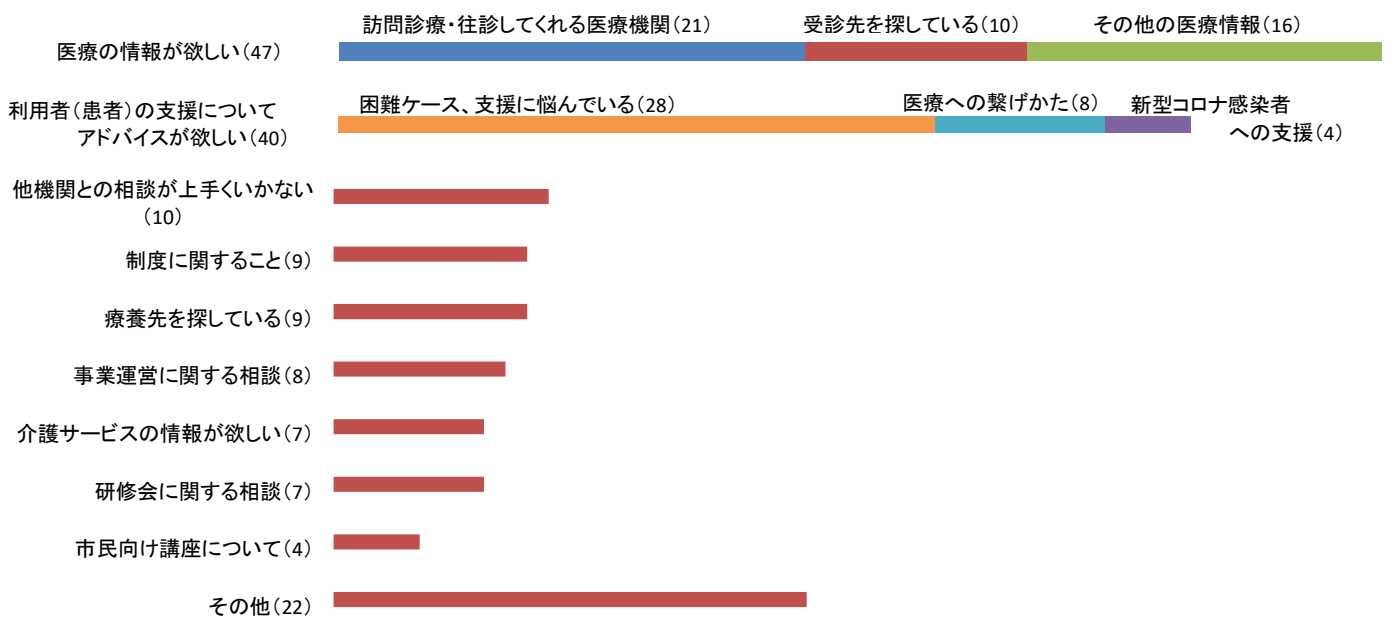
*相談者内訳

	2019年度	2020年度	2021年度 (11ヶ月分)
居宅介護支援事業所	55	52	33
地域包括支援センター	47	35	28
病院(MSW・NS・DR・薬剤師)	21	15	18
訪問看護ステーション	15	16	19
行政	15	12	9
診療所	5	9	4
市民	13	8	8
介護事業所(在宅系)	2	6	3
障がい支援センター、相談事業	3	6	4
介護事業所(施設系)	5	5	1
薬局	4	2	3
その他	16	13	14
計	201	179	144

*相談受付ステーション

	2019年度	2020年度	2021年度 (11ヶ月分)
ST北	13	1	2
ST東	13	9	5
ST東第二	5	3	5
ST中央	4	2	2
ST中央第二	10	11	3
ST江南	1	2	2
ST秋葉	15	15	18
ST南	14	14	8
ST西	20	20	18
ST西第二	15	15	18
ST西蒲	14	11	10
センター	77	76	53
計	201	179	144

2. 相談内容の内訳 (N=163)



在宅医療・介護連携センター／ステーション実施事業
研修会等実施状況

No.	事業名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込み
1	ご当地連携研修会	実施回数	56	52	27	50
		参加者数	3,098	2,593	489	1,617
2	ご当地連携研修会「感染症対策研修（地区別）」	実施回数	/	/	22	6
		参加者数	/	/	489	303
3	地域医療連携強化事業	実施回数	19	6	6	9
		参加者数	2,803	522	277	798
4	看護連携強化事業（地域別）	実施回数	/	/	/	7
		参加者数	/	/	/	153
5	区民公開講座	実施回数	4	13	5	/
		参加者数	107	1,456	506	/
6	市民出前講座「おきがる座談会」	実施回数	8	55	22	/
		参加者数	356	1,560	383	/
7	医療と介護の市民講座 ※R3年度～No.5とNo.6を統合	実施回数	8	/	/	27
		参加者数	109	/	/	1,204
8	事業所向け「在宅医療・介護の出前講座」	実施回数	6	12	1	/
		参加者数	227	256	46	/
9	働く人のための医療・介護セミナー ※R3年度～No.8と統合	実施回数	1	7	4	7
		参加者数	174	119	83	169
10	小・中学生、高校生向け「医療・介護の出前スクール」	実施回数	2	22	35	28
		参加者数	73	1,322	2,321	1,566
11	ネットワーク情報交換会	実施回数	1	1	1	1
		参加者数	62	191	145	200
12	ネットワーク事務担当者会議 ※令和2年度～中止	実施回数	1	1	/	/
		参加者数	275	38	/	/
13	近隣市町村情報交換会（新潟市開催分）	実施回数	/	1	1	1
		参加者数	/	45	15	39

精神科と一般診療科との 連携を考える！

「地域で精神疾患を持つ人を支えるために我々ができること」

2021年12月1日（水）19：00～20：00

➡ 講演 とやのメンタルクリニック院長 新藤雅延 氏

★ 座長：横田内科医院院長 横田樹也 氏

2022年1月21日（金）19：00～20：00

➡ 講演 山の下クリニック院長 阿部行宏 氏

★ 座長：新潟メンタルクリニック院長 熊谷敬一 氏

2022年3月3日（木）19：00～20：00

➡ 事例を通してのシンポジウム

★ シンポジスト

新潟市地域包括支援センター山潟

新潟市民病院、南浜病院、新潟市こころの健康センター

お申し込み | QRコードからお願いいたします

お問合わせ | 新潟市医師会 地域医療推進室

TEL 025-240-4135

MAIL renkei-center@med.em ail.ne.jp



地域医療連携強化事業

「精神科と一般診療科との連携を考える！」

開催日時：第1回 2021年12月1日（水）19:00～20:00
第2回 2022年1月21日（金）19:00～20:00
第3回 2022年3月3日（木）19:00～20:00

開催手段：
Zoomによる
オンラインセミナー

○内容

今年度は、「精神科クリニック篇」「一般診療クリニック篇」「事例を通してのシンポジウム」の3回で企画した。

第1回 講師：新藤雅延氏（とやのメンタルクリニック院長）

座長：横田樹也氏（横田内科医院院長）

第2回 講師：阿部行宏氏（山の下クリニック院長）

座長：熊谷敬一氏（新潟メンタルクリニック院長）

第3回 シンポジスト：

岡田智子氏（新潟市地域包括支援センター山潟）—事例提供者—

清野京子氏（新潟市民病院）

畑 和輝氏（南浜病院）

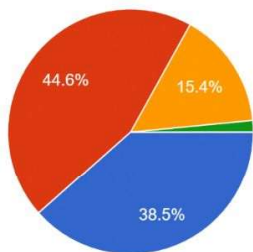
加藤晴子氏（新潟市こころの健康センター）

座長：清水智子氏（新潟市地域医療推進課）

○参加申込者 220名

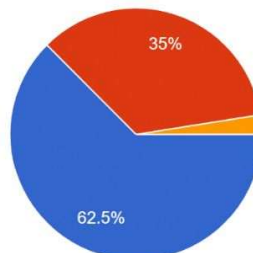
○参加者の反応（参加者アンケートより）

● 満足 ● どちらかといえば満足
● どちらかといえば不満 ● 不満



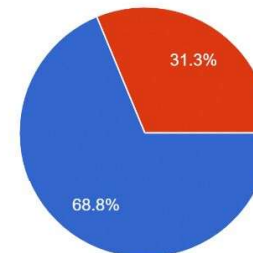
12/1

- ・精神科クリニックと病院の統計、違いが興味深かった
- ・クリニックの利用方法や基準、精神病院との違いが分かり参考になった。
- ・新患を積極的に受け入れられない診療報酬の事情を知り、医療側が抱える葛藤がよく分かった。
- ・一般診療科では精神疾患があるからと対応に困難となり、一方、精神科では精神疾患以外の内科的疾患があるからと対応に困難と言われる。直ぐに診てほしい一般診療科と、直ぐには診ることができない精神科の、相互理解が深まらないと現状のままなのではないかと思っている。



1/21

- ・内科の先生が精神科や心療内科に繋ぐ前に対応していただいていることはとても心強いと感じた。
- ・双方の連携や精神科へつなげるタイミングなど参考になった。
- ・一般内科の先生が在宅でかかりつけとしての機能を果たしておられることがわかった。
- ・認知症、精神病、色々な内科的疾患など様々な要因が関わってくるため連携や多方面から考える事の必要性を感じた。かかりつけ医から精神科へのアプローチも可能である。
- ・このような科を越えた先生方のディスカッションが新鮮だった。



3/3

- ・精神科につなげたい時のポイント。身体疾患の可能性を確認すること、客観的な情報提供、こころの健康センターに相談できること、などを学べた。
- ・医療との連携について、相手の立場で考えることが重要と改めて理解できた。特に必要な情報など整理して、依頼をすることが必要と感じた。
- ・精神科のハードルが下がったように感じた。

2021年度

在宅医療ネットワーク情報交換会

3年前の在宅医療ネットワーク情報交換会に参加されたかたは、熱気に満ち溢れた会場を思い出されることでしょう。

歩く”ヘルスプロモーション”を掲げ、地域包括ケア時代の地域づくりを
実践する櫃本先生が新潟市のためにと再び登場していただきます！

3月19日(土)
14:00～16:00

オンライン開催

基調講演

「コロナストレスを原動力に！！」

～かかりつけネットワークがセルフケアをエンパワー～」

講師：櫃本真聿 氏

四国医療産業研究所所長 医学博士 労働衛生コンサルタント

愛媛大学医学部卒業。同大学助手、宇和島中央保健所、御荘保健所長、伊予保健所長、愛媛県庁健康増進課長を経て、2002年愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター副センター長に就任。2006年同センター長。2013年同大学附属病院総合診療サポートセンター長を歴任。愛媛大学を早期退職し、2016年1月より現職。

活動報告

21団体ある新潟市在宅医療ネットワークの中から
2団体に「コロナ禍における活動」をご報告いただきます。

お気軽にご参加ください♪

共催 新潟市/新潟市医師会

【事務局】 新潟市在宅医療・介護連携センター

☎ 025-240-4135 E-mail renkei-center@med.email.ne.jp

令和3年度 地域医療連携強化事業(R4.3.31見込み)

No.	開催日時	会場	テーマ・対象	参加人数
1	4月22日(金)	オンライン	「西区における救急時の医療機関との連携について考える！ (短期入所生活介護編)」	9人
2	4月26日(火)	オンライン	「西区における救急時の医療機関との連携について考える！ (特別養護老人ホーム編)」	9人
3	10月13日(木)	オンライン	「にいがた救急連携シート」運用等に係る情報交換会 (施設編)	18人
4	10月14日(金)	オンライン	「にいがた救急連携シート」運用等に係る情報交換会 (居宅介護支援事業所・地域包括支援センター編)	35人
5	3月9日(水)	オンライン	「にいがた救急連携シート」運用等に係る情報交換会 (特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター編)	45人
6	3月15日(火)	オンライン	「にいがた救急連携シート」運用等に係る情報交換会 (特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター編)	25人

	開催日時	会場	目的・テーマ	講師・シンポジスト	参加人数
7	12月1日(木)	オンライン	GP連携① 「精神科と一般診療科との連携を考える！(精神科クリニック篇)」 精神科クリニックについて特徴を知り、各々の職種として連携を考えることができる。(受診や専門職同士の連携など)	【講師】とやのメンタルクリニック・新藤雅延医院長 【座長】横田内科医院・横田樹也医院長	217人
8	1月21日(金)	オンライン	GP連携② 「精神科と一般診療科との連携を考える！(一般科クリニック篇)」 一般診療科から精神科に繋ぐ場合の特徴を知り、各々職種が対策を考えることができる。(受診や専門職同士の連携など)	【講師】山の下クリニック・阿部行宏医院長 【座長】新潟メンタルクリニック・熊谷敬一医院長	220人
9	3月3日(木)	オンライン	GP連携③ 「事例を通してのシンポジウム」 事例を用い、地域で支える仕組み、具体的な支援や情報の得方、連携、受診に関係したサポートが考えられる。	【座長】新潟市地域医療推進課・清水智子課長 【シンポジスト】地域包括支援センター山潟・岡田智子保健師 新潟市民病院・清野京子医療ソーシャルワーカー 南浜病院・畑和輝精神保健福祉相談員 こころの健康センター・加藤晴子精神保健相談員	220人

令和3年度 地域看護連携強化事業(R4.3.31見込み)

No.	開催日時	会場	目的・テーマ	参加者		参加者数
				所属	職種	
1	7月16日(金)	オンライン	東区看護職の集い ・看護職が地域の現状や課題を知る ・看護職の横のつながりを深め相互理解を促進する	①SOMPOケア新潟訪問看護 ②じゅんさ池デイサービスセンター ③桑名病院	①訪問看護 ②デイサービス看護師 ③退院支援看護師	38人
2	8月26日(金)	オンライン	関屋・白新地域ケアネット分科会 看看連携 ・スタンダードプリコーションの確認 ・各所属での感染対策について情報交換	①新潟中央病院 ②住宅型有料老人ホームサニーウイング関屋	①感染管理認定看護師 ②生活相談員	33人
3	12月15日(水)	オンライン	中央区看看連携 看看連携でその人らしさに寄り添うケアを最期まで	①訪問看護ステーションよいとこ ②介護老人保健施設 緑樹苑 入退所相談室	①保健師/看護師 ②相談員	30人
4	2月16日(水)	オンライン	北区看看連携 北区の看看連携の課題、今後の取り組みについて話し合う	在宅医療・介護連携センター	保健師	10人
5	2月17日(木)	オンライン	西区 認知症ケアと看護師の地域連携を考える	①②済生会新潟病院	①認知症看護認定看護師 ②集中ケア認定看護師	47人
6	2月24日(木)	オンライン	「江南区・看護職の集い」	①こうなんfamilyクリニック ②ステーション江南	①②看護師	8人
7	3月18日(金)	オンライン	秋葉区 看護職のみなさん！秋葉区の看取りの現状について知っておきましょう。	①特別養護老人ホームこぐち苑 ②下越訪問看護ステーション	①②看護師	17人

令和3年度 ご当地連携研修会(R4.3.31見込み)

No.	開催ST	開催日時	会場	目的・テーマ	対象	参加人数
1	西蒲	5月19日(水)	web	【コロナ禍での看取り】 最期の場面をご本人ご家族と一緒に迎えられるよう、また多職種でのディスカッションを繰り返すことなど工夫されて取り組んだ実践報告。	在宅医療ネットワーク	70人
2	秋葉	5月26日(水)	秋葉区役所	【新型コロナウイルス禍での介護予防】 新型コロナへの理解を深め、感染予防・介護予防の重要性や留意点を再認識いただいた。	民生委員・サロン会長・デイサービス職員・居宅介護支援専門員・秋葉区役所職員ほか	27人
3	北	6月19日(土)	web	【ACP「最期まで自分らしく生きる」を支えるために】	北区専門職	30人
4	江南	6月29日(火)	江南区福祉センター	在宅での看取りについて～訪問看護の視点から～	地域の医療福祉関係専門職	28人
5	東二	7月9日(金)	web	今さら聞けない成年後見制度～すぐに役立つ、お気軽Q&A～	圏域のケアマネ、施設相談員、障がい者担当のケアマネ等	20人
8	東	9月15日(水)	新潟臨港病院	精神疾患がある方との関わり方～事例をとおして対応方法を学ぶ～	山の下圏域居宅介護支援事業所のケアマネジャー	18人
9	西蒲	9月15日(水)	web	地域における栄養管理支援	西蒲区在宅医療ネットワークの集い会員及び西南地区地域ネットワーク参加者	85人
10	東二	9月17日(金)	web	認知症のイ・ロ・ハ	東区内の医療・介護・薬局等の事業所職員向け	40人
11	東	9月29日(水)	web	①「医療の時間」消化器癌と地域連携②「行政の時間」新潟市の災害時避難計画について③「介護・福祉の時間」サービス付き高齢者向け住宅での生活～ヴェルメ花かいどうの場合～	東区山の下、藤見・下山圏域内の医療・介護関係機関の職員、山の下地域包括ケアネット会員事業所の職員、新潟市職員	37人
12	秋葉	10月5日(火)	秋葉区役所	①こころの健康センターの業務 ②事例を通じた支援例の紹介	新潟市地域包括支援センター新津圏域の居宅介護支援事業所	12人
13	江南	10月12日(火)	web	精神疾患を持つ方への支援～訪問看護師の視点から～	江南区の医療・介護に携わる職種	36人
14	中央第二	10月21日(木)	web	認知症を地域で支えるために	圏域内医療福祉関係者	48人
15	北	10月27日(水)	web	北区での身寄りなし問題について考える会の第1回(5回シリーズ)	北区高齢者施設職員	60人
16	中央第二	11月10日(水)	web	コロナフレイル	中央区居宅介護支援事業者	37人

No.	開催ST	開催日時	会場	目的・テーマ	対象	参加人数
17	秋葉	11月11日(木)	秋葉区役所	ケアマネジャーからもACPIについて学んでもらい、利用者自身が選択した希望に沿ったケアが受けられるようにする。	秋葉区内の居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護の介護支援専門員	27人
18	中央第二	11月18日(木)	web	適切な排泄について学ぶ	医療介護従事者(特に看護師)	24人
19	東第二	11月19日(金)	web	心不全～多職種の見点から～	東区内で主に在宅で関わる事業所向け	13人
20	西第二	11月22日(月)	web	ACPIについて	地域包括支援センター赤塚・坂井輪・五十嵐圏域の医療・介護関係者	72人
21	西	11月30日(火)	web	尿路感染症と尿カテ管理 ①尿路感染症基本のキ ②どうしたら良い？在宅での尿路カテ テル管理	ケアマネジャー	7人
22	江南	11月26日(土)	web	「摂食嚥下障害のある患者さんの対応について」	江南区の医療、福祉、介護職関係者	23人
23	北	12月3日(土)	web	精神疾患のある家族支援困難ケースを通してスーパービジョンを学ぶ	北区のケアマネジャー	20人
24	西蒲	12月10日(土)	巻ふれあい福祉センター	障がい福祉サービスと介護保険サービスの連携について	西蒲区内居宅介護支援事業所の介護支援専門員、地域包括支援センター、障がい福祉サービス事業所、医療機関職員	46人
25	東	12月15日(木)	新潟臨港病院Web	「利用者の解決すべき課題(ニーズ)に即していますか？」～サービス担当者会議のあり方～	山の下圏域の在宅介護サービス事業所、居宅介護支援事業所、医療機関、調剤薬局	24人
26	秋葉	12月15日(木)	秋葉区役所	感染症に関するBCP:業務継続計画作成についての情報交換会	秋葉区内の居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護に勤務する介護支援専門員	42人
27	中央第二	12月2日(金)	web	各専門職種に向けて認知症の基礎～実践編までの情報を毎週30分ずつ、タイトル別にオンラインで発信し、知識・技術の深化を図る。※全15回を予定	新潟市(全域)の医療・介護従事者	450人
42	西第二	1月13日(木)	web	ケースを通して精神科医療との連携を考える～病院や事業所の特性、連携や活用のポイントについて～	西ブロック居宅介護支援事業者連絡協議会 会員、医療機関関係者	45人
43	西蒲	1月19日(水)	web	災害についての取り組み	西蒲区で従事する医療・介護・福祉関係者(区外からの参加も可)	74人
44	北	1月26日(水)	web	北区における入退院支援を考える	北区のケアマネジャー 北区4病院のPSW・MSW	29人
45	西	1月26日(水)	web	ACPIについて(仮)	ケアマネジャー、薬局	25人

No.	開催ST	開催日時	会場	目的・テーマ	対象	参加人数
46	東第二	1月28日(金)	木戸病院 web	みんなで支えるACP	東区木戸大形圏域の病院や介護事業所、行政機関	30人
47	江南	2月24日(木)	web	「在宅での看取りについて～訪問診療・訪問看護の視点から～」 「もしもシートについて」	江南区の医療介護福祉関係者	20人
48	東	2月19日(土)	web	日ごろの実践から捉えるACP	山の下地域包括ケアネット会員事業所・ST北・東第二・東圏域の医療・介護事業所	59人
49	西蒲	2月19日(土)	web	コロナ禍での経験を通じて、これからの地域(在宅)医療を考える	西蒲区で従事する医療・介護・福祉関係者(区外からの参加も可)	70人
50	北	3月18日(金)	web	北区において身寄りなしに関する法律・知識をみなで勉強し、地域で支えられる仕組み作りを考える	北区の高齢者に関わる専門職	30人

令和3年度 医療と介護の市民講座(R4.3.31見込み)

No.	担当ST	開催日	申込者	会場	目的・テーマ	参加人数
1	西	5月25日(火)	山田自治会「寿会」	山田公民館	【テーマ】考えてみませんか、これからの治療・ケア～望む生活・看取られ方について～	31人
2	東第二	6月3日(木)	地域の住民	粟山自治会館	健康寿命、笑いヨガ	22人
3	中央	6月6日(日)	新潟市在宅医療・介護連携ステーション中央・にいがた在宅ケアねっと	新潟市民プラザ	在宅医療の未来を考える「ピア」上映会 「いのち・暮らし・生きがいを支える在宅医療」	136人
4	江南	6月7日(日)	ボランティアサークルに登録している地域住民	曾野木地区公民館	じょうずな医療のかかり方	31人
5	江南	6月25日(金)	社協に登録しているボランティア	江南区福祉センター	じょうずな医療のかかり方	11人
6	西蒲	6月30日(水)	学水クラブ	学校町記念会館	知っておこう、医療と介護～いざという時のために～	13人
7	秋葉	7月6日(火)	みそら野茶話会参加者	みそら野会館	知っておきませんか、在宅医療・介護～自宅での療養生活のイメージ～	14人
8	北	8月5日(木)	北区文化会館	自治・町内会長	地域福祉研修会「地域活動における新型コロナウイルス感染症の理解」	130人
9	北	10月8日(金)	ふれあい大学講座参加者	北区濁川公民館	これからの治療ケア～望む看取り方、看取られ方～	25人
10	西蒲	10月15日(金)	下組サロン参加者及び近隣住民	下組集会所	認知症について	8人
11	中央二	10月22日(金)	地域住民(八丁目の茶の間)	ニューモラル会館	認知症を学ぶ	13人
12	中央二	10月25日(月)	地域住民(上山みんなの茶の間)	出来島公民館	「もしバナカード」を使った講話	16人
13	西二	10月29日(金)	新潟市西区民(包括赤塚圏域)	内野まちづくりセンター	認知症について	44人
14	西	11月5日(金)	一般市民	青山コミュニティハウス	認知症との付き合い方	17人
15	東	11月11日(木)	概ね、藤見・下山、山の下圏域の市民	中地区公民館	認知症を理解して地域で支えましょう	10人
16	中央二	11月20日(土)	一般市民・医療介護従事者	新潟ユニゾンプラザ	地域で支えよう！認知症 認知症の今を学ぼう	190人
17	東	11月30日(火)	概ね、藤見・下山、山の下圏域の市民	中地区公民館	もしもの時ってどんな時？みんなで一緒に考えよう	9人
18	西	12月1日(水)	一般市民(民生委員)	黒崎市民会館	考えてみませんか、これからの治療・ケア～望む生活・看取られ方について～	47人
19	江南	12月1日(水)	老人クラブさつき会の参加者	さつき会館	「もしもシート」について	29人

No.	担当 ST	開催日	申込者	会場	目的・テーマ	参加 人数
20	西第二	12月4日(土)	新潟市全区民	ハイブリッド(新潟市総合保健医療センター)	ACPについて 一緒に考えてみませんか オンライン(Zoom)講座 ～ACP(アドバンス・ケア・プランニング)ってなに?～	75人
21	江南	12月6日(月)	曾野木両川圏域の地域住民 地域のお茶の間「ふれあい月の会」	両川連絡所	「もしもシート」を通して在宅医療や介護、ACPについて関心を持ち、身近な方達と話を するきっかけの一助となり、「もしもシート」の周知に繋がることを期待する。	21人
22	秋葉	12月14日(火)	みそら野茶話会参加者	みそら野会館	介護保険を活用した老後の生活～ACP～看取りを学ぶ	13人
23	西	12月18日(土)	新潟市全区民	ハイブリッド(新潟市総合保健医療センター)	「ACPについて一緒に考えてみませんか」	55人
24	西蒲	12月18日(土)	「おやじ塾」参加者	升潟集落開発センター	認知症について	15人
25	中央	12月23日(木)	一般市民	新潟市総合福祉会館	認知症とフレイル予防	31人
26	秋葉	12月25日(土)	小合地区のサロンの代表者	秋葉区小合地区コミュニ ティセンター	ACP・もしもシートについて学ぶ	13人
27	南	3月27日(日)	市民	白根学習館ラスベック ホール(ハイブリッド)	あなたを守る人生会議。心不全で入院しない、させない。今からできる生活改善」	185人

令和3年度 働く人のための医療・介護セミナー(R4.3.31見込み)

No.	担当	開催日	会場・申込団体	目的・テーマ	参加人数
1	センター	6月16日(水)	オンライン・ メットライフ生命	身内に介護が必要な状態になっても、慌てずに生活を保つことができるよう、相談の窓口を知る。働きながら介護をしている人の例を知る。我がごとばかりではなく、仕事など(介護に関する悩みを受ける機会も多いので)活かし、正しい情報発信ができるようになる。	20人
2	センター	7月14日(水)	(株)マルタケ	【地域包括支援センターと在宅医療・介護連携推進事業について】 西区の認知症対策に事務局として協力することになったが、普段から病院や調剤薬局に出入りするなかで気がかりなことがあってもどのようにサポートすればよいのか解らないとのこと。何度か研修会を行っていきたいと会社側からの希望がある⇒今回は、営業として地域に出向かれる人が、地域包括支援センターと在宅医療・介護連携ステーション(センター)を理解し相談できること、地域連携の必要性を知ってもらうことを目的とする。また、介護保険や多職種との関わりなど不明に思っていることが多いと思うため、GWで情報交換しあってもらう。	39人
3	センター	9月3日(金)	オンライン	高齢者に関する相談窓口がわかり、もしもの時に早期からの対応ができる。 認知症や介護などの漠然とした不安に対して、正しい理解へと導く。	10人
4	センター	9月10日(金)	オンライン	【介護する側の生活 守るためのしくみと施設】 高齢者の生活についてイメージできる。施設の違いが判る。 介護サービスにお願いすべきことと、家族(身内)にしかできないことを知ってもらい、要介護者・介護者両者の生活を守るためのしくみなどを知る。	15人
5	センター	10月11日(月)	オンライン・ ろうきん	【医療と介護の…ちょっと知っておいてほしいこと】 高齢者の特徴を知る。相談窓口である、包括の存在を知る。介護離職予防。	27人
6	センター	10月13日(水)	オンライン・ ろうきん	【医療と介護の…ちょっと知っておいてほしいこと】 高齢者の特徴を知る。相談窓口である、包括の存在を知る。介護離職予防。	27人
7	センター	11月18日(木)	(株)マルタケ	【地域包括支援センターと在宅医療・介護連携推進事業について②】 前回の研修でグループワークを行い、そこで出た意見から課題が6つ出ていた。その課題をテーマにして、「生活支援や個人情報への考え方」「認知症について」「地域や他機関との連携」についての理解を深めてもらう。	31人

令和3年度 医療と介護の出前スクール(R4.3.31見込み)

No.	担当ST	開催日	学校名	学年	講師の職種	参加人数
1	市	5月12日(水)	万代高校	1年生	一般行政職	80人
2	西蒲	5月19日(水)	西川中学校	2年生	看護師 理学療法士	83人
3	西第二	5月21日(金)	県立新潟西高等学校	2年生(医療専攻希望者)	看護師	20人
4	北	6月18日(金)	葛塚中学校	2年生	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	125人
5	西第二	6月18日(金)	県立新潟西高等学校	2年生(医療専攻希望者)	理学療法士	14人
6	秋葉	7月2日(金)	小合小学校	5年生	介護福祉士	38人
7	江南	7月8日(木)	大江山中学校	3年生	薬剤師 作業療法士 看護師	56人
8	CT	7月20日(火)	高志中等教育学校	2年生	行政職 保健師	17人
9	中央	7月20日(火)	高志中等教育学校	2年生	医師	14人
10	南	8月10日(火)	味方小学校・月潟小学校/白根高校	4~6年生/3年生	デイサービスセンターあじかた センター長	12人
11	江南	9月22日(水)	大淵小学校	6年生	薬剤師 保健師	25人
12	江南	9月22日(水)	大淵小学校	4年生	薬剤師 保健師	28人
13	秋葉	9月28日(火)	県立新津高等学校	2年生	看護師	5人
14	西第二	9月30日(木)	赤塚中学校	2年生	臨床検査技師	55人
15	江南	10月1日(金)	横越中学校	1年生	理学療法士 介護福祉士	110人
16	北	10月6日(水)	太夫浜小学校	6年生	共栄堂 厚生連豊栄病院	32人
17	中央	10月8日(金)	万代高校	1年生	医師 MSW(医療相談員)	240人
18	中央第二	10月13日(水)	新潟第一中学校	2年生	医師	60人
19	南	10月14日(木)	大鷲小学校	6年生	看護師	11人
20	中央	10月15日(金)	桜が丘小学校	5年生	薬剤師 理学療法士	85人
21	西第二	10月27日(水)	坂井輪中学校	2年生	薬剤師	229人
22	東	11月10日(水)	牡丹山小学校	6年生	看護師	116人
23	北	11月11日(木)	濁川小学校	6年生	薬剤師	63人
24	北	12月6日(月)	南浜小学校	6年生	薬剤師 理学療法士 作業療法士	14人
25	西第二	1月24日(月)	小瀬小学校	6年生	看護師	12人
26	江南	1月24日(月)	亀田東小学校	6年生	看護師	120人
27	北	2月2日(水)	木崎中学校	1年生	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	61人
28	西	2月10日(木)	小新中学校	3年生	医療相談員	111人



医療と介護の 出前スクール

日程・内容
未定も
お申込を！



受付
5月20日まで

オンライン対応
もOK

内容

地域で活躍する
医療・介護の専
門家が仕事の魅
力を伝えます

活用事例

- ・キャリア教育
- ・総合学習
- ・探求の時間
- ・PTA行事

申込方法

- ・裏面の申込用紙
をご提出ください
- ・詳細は裏面、2枚
目をご覧ください

在宅医療・介護連携
センター(新潟市医師会内)

(TEL) 025-240-4135

(受付時間) 午前9時～午後5時

土日・祝日除く

(FAX) 025-247-8856

(メール) renkei-center@med.email.ne.jp

参加者の声

医療・介護の仕事のイメージ図を見て、地域の中で様々な職種が連携して働いていることがわかりました。
(小学生)



授業を通して人の命を支える仕事の魅力と共に、好きなことを仕事にできる素晴らしさや仕事をする楽しさを感じることができました。(先生)



訪問看護師という職業を初めて知りました。患者さんを支えるために看護師だけではなく、医師、リハビリ職、薬剤師など様々な職業の人が地域で働いていることがわかり驚きました。
(高校生)



実験を通して、薬をどうやって飲めばいいのか、どうやったら効くのかわかりました。今日学んだことを自分の将来の夢に結びつけていきたいと思います。
(小学生)



初めて車椅子に乗って、次にどう動くかわからないと不安な気持ちになりました。車椅子を押すときは声がけしながら動かすことで乗っている人を不安にさせないことが大切だと学びました。
(小学生)



介護には大変そうというイメージがありましたが、ケアマネジャーは誰かのために提案し喜んでもらえるやりがいのある仕事だとわかりました。(中学生)



手洗い実習で自分では洗えていると思っていてもまだ汚れがたくさん残っていることがわかりました。今日学んだことを活かしこれからはしっかり手洗いをしていきたいと思っています。(中学生)

※感染予防対策が必要な時期には、オンライン授業とさせていただいたり、グループワークや対面を避け聴診器で自らのからだの音を聴くなどの体験をしていただきました。



令和 3 年度 看護職関係研修会 ～組織を超えた看看連携の構築のために～

【広域開催】

	月日/主催	テーマ・講師・内容・参加者
1	10月23日 新潟市・ 看護協会 共催	県看護協会新潟東西支部研修会「新型コロナウイルス感染症」 講師：西新潟中央病院統括診療部長 桑原克弘氏 内容：講演 ・感染対策、変異株・ワクチン等の情報 ・看護部作成動画による病院での患者受け入れの現状 参加：二次医療圏保健師・助産師・看護師 会場 50 人・オンライン 65 人
2	10月28日 連携セン ター	CanCan ミーティング「外来で始める在宅療養支援」 講師：在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス 宇都宮宏子氏 話題提供：桑名病院 看護師 田代章子氏 新潟白根総合病院訪問看護ステーション 看護師 畠中昌美氏 内容：講義とグループワーク ・社会の変化（地域包括ケア時代）と外来看護の役割 ・患者やその家族に目を向けた、外来での体制づくりの工夫 ・外来看護師が果たす医療・看護・介護の連携 参加：近隣市町村含む看護職 会場 4 人・オンライン 136 人参加
3	12月22日 新潟市	病院看護管理者研修会「新型コロナウイルス禍におけるメンタルヘルス」 講師：和洋女子大学看護学部准教授 公益社団法人日本看護協会 精神看護専門看護師 寺岡征太郎氏 西新潟中央病院 看護部長 大井寿美江氏 内容：講演「新型コロナウイルス禍におけるメンタルヘルス・ケア 実践報告「西新潟中央病院における看護管理者の取組み」 参加：二次医療圏域病院看護部長 オンライン 34 病院

【地域別開催】

	月日/主催	テーマ・参加者
1	7月16日 ST 東、東第二	看護職の役割をテーマに、SOMPO ケア訪看 ST・デイサービスじゅん さ池・桑名病院退院支援の取組報告、情報交換 オンライン 27 人
2	8月26日 ST 中央第二	新型コロナウイルス感染症対策をテーマに、新潟中央病院看護師講義、 有料ホームサニーウイング実践報告、情報交換 オンライン 33 人
3	12月15日 ST 中央・中央第二	その人らしさに最期まで寄り添うケアをテーマに、訪看 ST よいとこ・ 老健緑樹苑の取組報告から事例を通して考える オンライン 25 人
4	2月16日 ST 北	各施設の連携の課題について、情報交換により北区での看看連携ついて 考える オンライン 10 人
5	2月17日 ST 西・西第二	認知症患者を支える地域連地域連携をテーマに、済生会病院認知症認定 看護師・集中ケア認定看護師の講義より考える オンライン 47 人
6	2月24日 ST 江南	在宅看取りをテーマに、江南 family クリニックより実践報告、情報交 換 オンライン 6 人
7	3月18日 ST 秋葉	看取りをテーマに、特養こぐち苑・下越訪看 ST 実践報告、情報交換 オンライン 20 人見込み



情報共有

みんな、
こんな時
どうしてる？

相談

コミュニケーション

よりよい看護の連携・協働ために知っておきたいたいせつな話

中央区

看看連携研修会

新潟市在宅医療・介護連携推進事業
地域看護連携強化事業、地域別研修会

日時：12月15日（水）14:00～15:30

場所：Zoomによるオンライン研修会

対象者：新潟市地域包括支援センター宮浦東新潟、鳥屋野・上山、
山潟圏域の病院、診療所、介護事業所、施設、行政
訪問看護ステーションに勤務する看護職

プログラム：

◆看看連携でその人らしさに寄り添うケアを最期まで

- ① 「施設における看取り～事例紹介とこれまでの取り組み～」
訪問看護ステーションよいとこ 看護師 佐藤泰宏さん
- ② 「介護老人保健施設における看取り～入所から看取り～」
介護老人保健施設 緑樹苑 入退所相談員

※ 別紙申込書でFAXにてお申し込みください



主催：新潟市在宅医療・介護連携ステーション中央（斎藤内科クリニック）

共催：新潟市在宅医療・介護連携ステーション中央第二（総合リハビリテーションセンターみどり病院）

新潟市地域包括支援センター宮浦東新潟

新潟市地域包括支援センター鳥屋野上山

新潟市地域包括支援センター山潟

「認知症ケアと 看護師の地域連携 を考える」

今後高齢者の増加に伴い認知症を
患う方は65歳以上の5人に1人と
言われています。
地域全体で認知症患者を支える
ことができるように、
私たち看護職が地域連携の
在り方を考えませんか？



日時

2月17日（木）

14:00～15:00 Zoomによるオンライン開催

内容

「一事例を通して認知症ケアを考える」

対象

新潟市西区の病院・開業医・高齢者施設
通所施設等に勤務する看護師（先着90名）

講師

済生会新潟病院
認知症看護認定看護師 水落 真衣 氏
集中ケア認定看護師 山本 麗子 氏

申込
方法

URLまたはQRコードよりお申込み下さい。

<https://forms.gle/zy3nVfjqNaby1frB7>

※各個人でお申込み下さい。 **〆切2/10(木)**



在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業 進捗状況報告

1. ワーキンググループ

R1. 5. 24 (第一回) R1. 7. 29 (第二回) R1. 10. 1 (第三回) R2. 1. 29 (第四回)
 R2. 6. 2 (第五回) R2. 11. 10 (第六回) R3. 2. 22 (第七回) R3. 7. 1 (第八回)
R3. 12. 10 (第九回) R4. 2. 21 (第十回)

2. ヒアリング(訪問)・アンケート

R1. 6:市社協(緊急情報キット) R1. 6:市医師会(SWAN ネット)
 R1. 6:救急課(救急アクションカードほか) R1. 10:市内全救急隊アンケート
 R1. 11:西消防署 R1. 11~R2. 2:西区高齢者施設 R1. 12:西区 4 包括支援センター
 R2. 6~7:西区救急 5 病院 R2. 7:西消防署

3. 事業説明会・訪問等

R1. 9 市居宅介護支援事業者連絡協議会 R1. 10 西区救急 5 病院連携実務担当者
 R1. 11 西区救急 5 病院経営管理層・看護部長・連携実務担当者
 R2. 1 赤塚・坂井輪圏域学習会
 R1. 6~R2. 1 中央区ケア会議、ケア会議作業部会(計 3 回)
 R2. 6、R3. 3 西区救急 5 病院連携実務担当者 R2. 8 西区介護老人保健施設
 R3. 2 西区特養・ショート(web)
R3. 5~R3. 6 西区対象施設(特養・老健・ショート) R3. 6 西消防署
R3. 7 市居宅介護支援事業所各区世話人
R3. 10 意見交換会(施設)、事業説明会(居宅介護支援事業所&包括センター)
R3. 11 事業・操作説明会(病院・消防署) R3. 11 事業説明会(西区訪問看護 ST)

4. にいがた救急連携シート(SWAN ネット QQ)

R3. 5~7 特養・老健・ショートステイへシート納品
R3. 11~ シート情報収受(SWAN ネットヘデータ取込)
R3. 12 救急病院へタブレット(SWAN ネット QQ)貸与
R4. 1 西消防署へタブレット貸与
R4. 3 居宅介護支援事業所・包括事業協力依頼、シート納品

5. ACP 市民講座

①R3. 12. 4 ハイブリッド開催(講師:信楽園 下畑医師、75 人参加)
②R3. 12. 18 ハイブリッド開催(講師:済生会 坪野医師、50 名参加)

6. 意思決定支援研修会

①R3. 5. 12 意思決定支援研修会(講師:新潟大学 坂井さゆり氏、273 人参加)
②-1 R3. 12. 14 プレセミナー(講師:田村里子氏、92 人参加)
②-2 R4. 1~R4. 4 シリーズ研修(講師:田村里子氏、各回 20 人参加)

在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業スケジュール（R4.3.22現在）

資料3-2

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
救急連携シート (紙/ICT)	<ul style="list-style-type: none"> ●シートデータ收受→SWANネットへデータ取込(随時) → ●12/28タブレットを病院へ納品 ●1/14タブレットを西消防署へ納品 ●タブレットを西蒲中央病院へ納品 														
意思決定支援研修	<ul style="list-style-type: none"> ●5/12意思決定支援研修会@zoom ●12/14意思決定支援研修会(プレセミナー)@zoom シリーズ研修 <ul style="list-style-type: none"> ●1/8 ●2/19 ●3/12 ○4/16 														
ACP市民講座 (市民ワークショップ)	<ul style="list-style-type: none"> ●①12/4 ●②12/18 ➡ 連携STと相談し、啓発事業実施 														
ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回(7/1) ●第2回(12/10) ●第3回(2/21) ➡ R4年度3回開催予定(7・11・2月) 														
その他 ヒアリング 事業説明・意見交換会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●5/18～7/6 西区対象施設(特養・老健・ショート) ●6/3 西消防署 ●6/17～7/19救急病院(西区5+西蒲中央) ●7/14 ケアマネ各区幹事 ●7/30 西区包括・居宅CM ●10/13 施設・病院 ●10/14 西区CM・包括 ●11/上～11/中 西区&西蒲区6病院訪問 ●11/中～ 西区居宅事業所訪問 ●3/9、15情報交換会 														

在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業
にいがた救急連携シートについて

新潟市保健衛生部地域医療推進課
Regional Medical Care Promotion Division

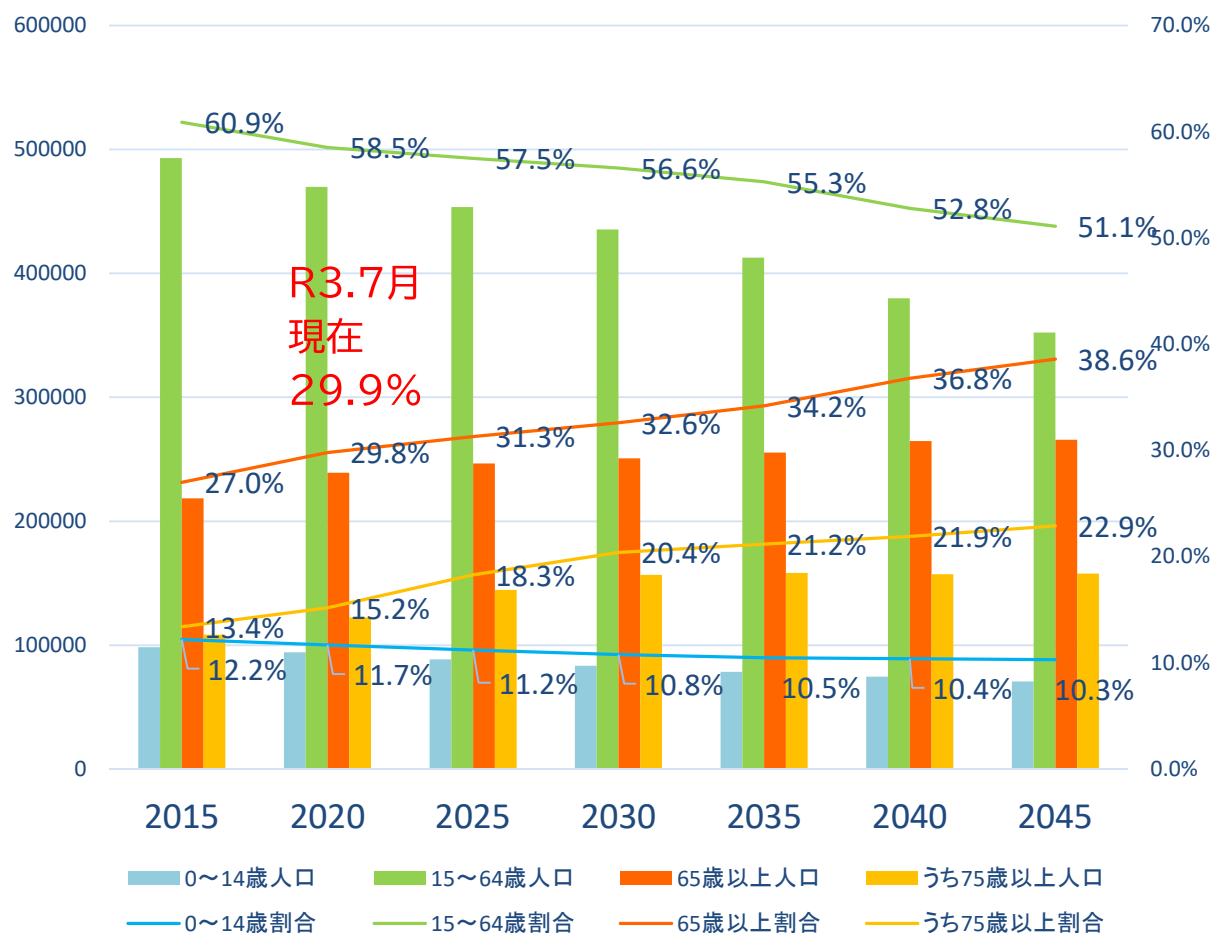


新しい「目」で、新しい「心」で、新しい「新潟市」

背景・課題

高齢化の進展に伴い、高齢者の救急搬送が増加の一途を辿っている。医療提供体制及び地域包括ケアシステムの構築においては、個人の尊厳や意思が尊重され、人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境の整備が求められている。

今後ますます顕著となる超高齢化のなか、在宅で最期まで療養することを希望する患者の病状が急変した際に本人の意思に沿わない(本人の意思が不明な状態での)救急搬送が増加することが懸念される。



2021年に高齢化率30%を超える見込み。

在宅医療介護のメインターゲットとなる後期高齢者は2035年前後にピークを迎え、緩やかに減少していく。

(参考)
2035年前後
新潟市／新発田市／南魚沼市

2030年前後
長岡市／上越市／三条市
燕市／

2015年以前
佐渡市／阿賀町 など

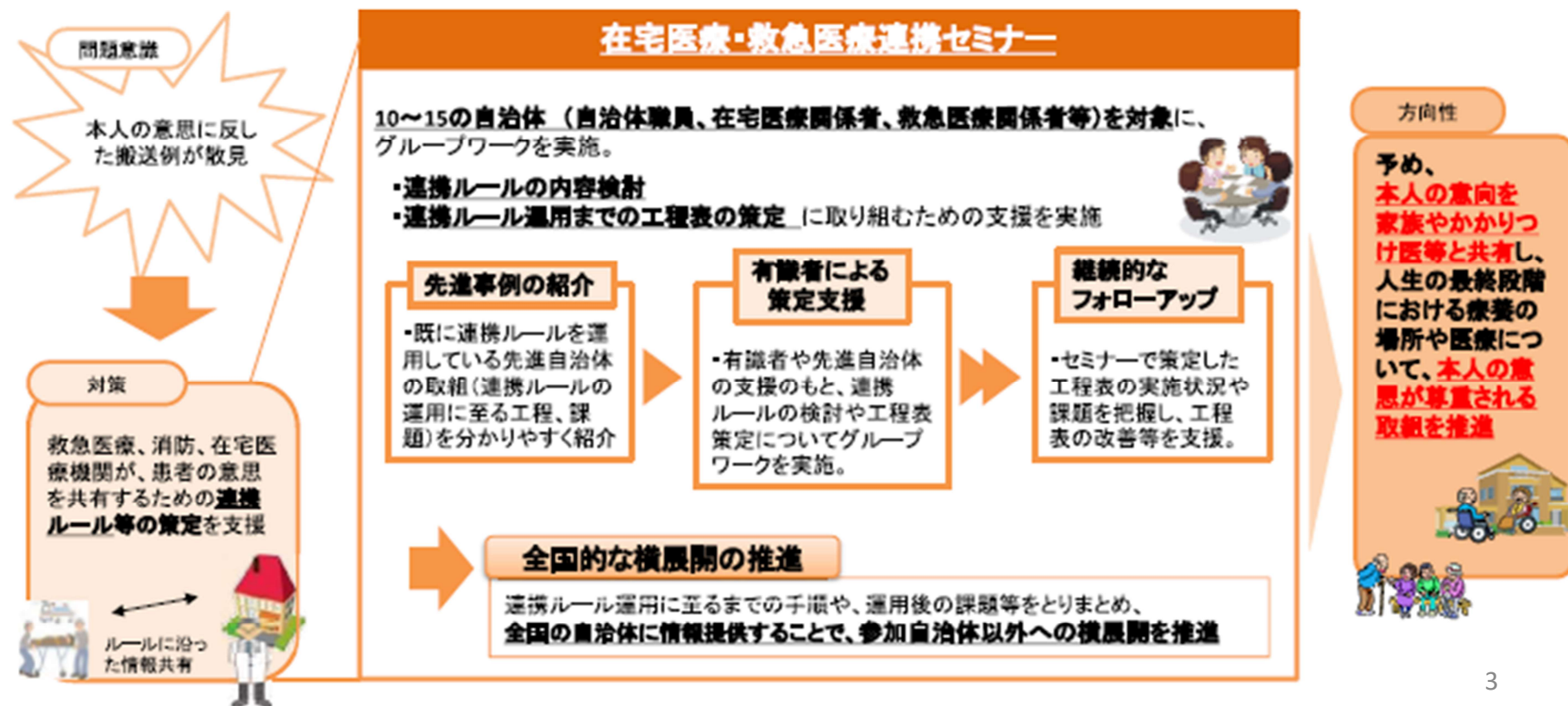
在宅医療・救急医療連携セミナー

<背景・課題> 本人の意思に反した(延命を望まない患者の)救急搬送が散見

国民の多くが人生の最期を自宅で迎えることを希望している。一方、高齢者の救急搬送件数も年々増加し、また大半は、人生の最終段階における医療等について、家族と話し合いを行っていない。このような背景を踏まえると、今後、本人の意思に反した救急搬送が増加する懸念がある。

<対策> 患者の意思を関係機関間で共有するための連携ルールの策定支援

先進自治体では、在宅医療関係者と救急医療関係者の協議の場を設け、救急搬送時の情報共有ルールの設定や、住民向け普及啓発に取り組んでいる。こうした先進事例をもとに、複数の自治体を対象としたセミナーを実施し、連携ルール策定のための重点的な支援を行う。また、本取組について全国的な横展開を推進していくことで、人生の最終段階において本人の意思が尊重される環境を整備する。



在宅医療・救急医療連携ワーキンググループ

■設置 平成31年4月1日設置

■メンバー 横田 樹也（医師 /新潟市医師会在宅医療部長/横田内科医院 院長）(★座長)

阿部 葉子（MSW・ケアマネジャー /在宅ケアクリニック川岸町）

斎川 克之（社会福祉士 /新潟市医師会地域医療推進室 室長）

村上 宏（救急救命士 /新潟市消防局 課長補佐）

原田 宏一（弁護士 /新潟県弁護士会）

広瀬 保夫（医師 /新潟市民病院救命救急・循環器病・脳卒中センター センター長）

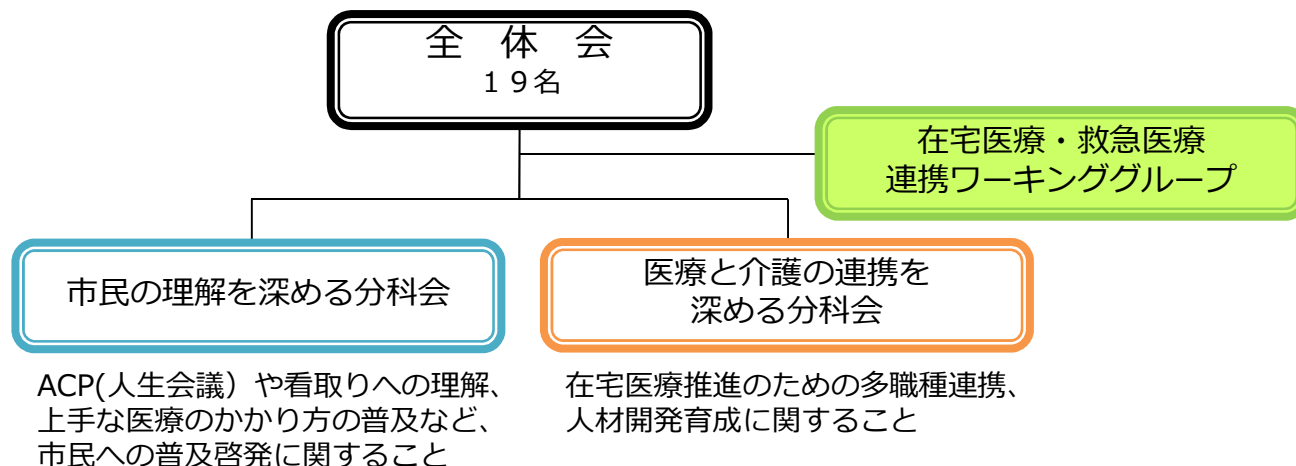
宮崎 則夫（介護福祉士 /新潟県介護福祉士会）

■協議事項

在宅療養患者の意思を共有するための関係機関の連携構築、共有の仕組みづくり(連携ルール策定)に関すること

■体系図

新潟市在宅医療・介護連携推進協議会
(H27.5月設置)



在宅医療・救急医療連携推進パイロット事業 (R2～R4年度)

1 目的

高齢化の進展に伴い今後も増え続ける救急搬送需要に対応するため、

「**にいがた救急連携シート**」を作成し、救急時に本人、家族、救急隊、医療ケアチームと共有・活用することで、円滑な救急搬送につなげる。あわせて、普段から治療やケア、過ごし方に関する希望を家族などと共有しておくことの大切さについて、理解と実践を促し、本人の意思が尊重されやすい医療提供体制の強化につなげる。

2 事業

- ・ **にいがた救急連携シートの作成・運用**
- ・ (仮称) ACP市民講座
- ・ 相談援助職向け意思決定支援研修会

にいがた救急連携シート

(1) 目的 (シートの趣旨)

市民一人ひとりが、将来の意思決定能力の低下に備えて、人生の最終段階において、どこで過ごし、どのような医療を受けたいか、元気なときから考えていけるようシートを作成し、繰り返しの話し合いを促す。

既往歴、持病、服薬状況、緊急時連絡先、かかりつけ医情報のほか、今後の治療や療養に関わる本人の意向を含めた情報シートを作成し、救急時に関係者間で共有・活用する。

(2) 利用 (配布) 対象者

令和3年度 西区の施設入所・利用者 (特養・老健・短期入所)

令和4年度 西区在住の要支援・要介護認定者

※上記対象者のうち、当該事業の説明を聞いた上で、自らの情報の登録および共有に同意した者とする。



(3) 運用方法

- 生活相談員、ケアマネジャー等が紹介、説明、記入支援を行う
- 救急隊、救急告示病院、当人に関わる医療介護従事者が情報共有 (閲覧) 可能とする
- 初回登録後は基本的に一年に一度 (対象者の誕生日)、情報の見直しを行い、変更があった場合に更新登録することとする。病状や意向が変化した際にはその都度見直し (更新) を行う。

氏名	性別	年齢	緊急連絡先

氏名	職業	住所	緊急連絡先

施設名	施設種別	緊急連絡先	住所



にいがた救急連携シート



新潟市では、皆さまにあらかじめ治療中の病気やかかりつけ医療機関、緊急連絡先などを記入してもらって「にいがた救急連携シート」を作成しました。緊急事態発生時や医療機関、救急隊などの関係者が、このシートに記載の情報を共有することで、「もしもの時」に、速やかな救急搬送や搬送先医療機関でのスムーズな対応につなげることを目的としたものです。記載内容に変更があった場合は、そのつど記載してください。

※R/新潟市在宅医療・介護連携推進協議会 兼R/新潟市保健衛生局地域医療推進課

(1) 基本情報

ふりがな		年齢	歳
氏名		性別	男・女
生年月日	明治・大正・昭和・平成	年	月 日
住所	新潟市 区		
連絡先電話番号			

(2) 医療の情報

現在治療中の病気やケガ	<input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 脳血管疾患 <input type="checkbox"/> 透析(腎不全) <input type="checkbox"/> その他の疾患()		
過去にかかった主な病気			
現在の内服薬(お薬手帳の写し可)			
アレルギー	無・有(記入:)		
かかりつけ医療機関 ※おおむね1年以内に受診歴のある などの病歴・診療所	医療機関名	診療科名	
	医療機関名	診療科名	
	医療機関名	診療科名	

(3) 連絡をとってほしい人

氏名	続柄	住所	緊急時連絡先

(4) かかわりのある医療・福祉・介護の関係者

	機関名	担当者	緊急時連絡先	24時間対応
かかりつけ医				
訪問看護ステーション				
ケアマネジャー				
生活相談員				
地域包括支援センター				
その他()				
その他()				

(5) 日常の体の動き

機能障害	①麻痺	<ul style="list-style-type: none"> ●力が入らず動かせない <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有(部位・程度:) ●感覚がない <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有(部位・程度:) □動いてもわからない <input type="checkbox"/>熱さを感じない <input type="checkbox"/>痛みを感じない
	②拘縮	<ul style="list-style-type: none"> ●関節が固まって動きにくい <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有(部位:) ●関節が固まって動かない <input type="checkbox"/>無 <input type="checkbox"/>有(部位:)
	③欠損	●生まれながら/事故や病気で切断したことなどにより体の一部が欠けている <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(部位:)
	④視覚	<input type="checkbox"/> 裸眼で見える <input type="checkbox"/> 眼鏡等の利用で見える <input type="checkbox"/> 眼鏡等をしても見えにくい/見えない <input type="checkbox"/> 聴こえが悪い(□みぎ □ひだり) → 補聴器の利用 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
	⑤聴覚	<input type="checkbox"/> 自分ひとりで行ける <input type="checkbox"/> 支えがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他()
活動	①歩行	<input type="checkbox"/> 自分ひとりで行ける <input type="checkbox"/> 支えがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他()
	②補助具など	<input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> シルバーカー <input type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> その他()
食事	①介助	<input type="checkbox"/> 自分ひとりで行ける <input type="checkbox"/> 見守りがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない
	②方法	<input type="checkbox"/> くち(口)で食べる <input type="checkbox"/> 経管栄養→ <input type="checkbox"/> 経鼻(鼻からの管) <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 腸ろう <input type="checkbox"/> その他()
	③形態	<input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> きざみ食 <input type="checkbox"/> その他()
排泄(尿/便)	①介助	<input type="checkbox"/> 自分ひとりで行ける <input type="checkbox"/> 支えがあればできる <input type="checkbox"/> 自分ではできない
	②方法	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> 尿器 <input type="checkbox"/> オムツ <input type="checkbox"/> 留置カテーテル <input type="checkbox"/> ストーマ <input type="checkbox"/> その他()
精神状態	①意思の疎通	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できない
	②意識レベル	<input type="checkbox"/> はっきりしている <input type="checkbox"/> ぼんやりしている <input type="checkbox"/> 刺激しないと眠り込む <input type="checkbox"/> 自傷・他害のおそれ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(内容:)
特別な医療	<input type="checkbox"/> ドレーン <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> シャント <input type="checkbox"/> ペースメーカー <input type="checkbox"/> 体内金属物 <input type="checkbox"/> その他(詳細)	

(6) その他、特記事項

本人氏名
上記1から6の情報について、緊急事態発生時、搬送先の医療機関、救急隊、新潟市、新潟市医師会ほか「4かかわりのある医療・福祉・介護の関係者」が、本シート及び新潟市が管理するICT情報共有ツールで情報共有し、救急医療に活用することに同意の上、作成しました。
代理作成者・作成支援者等
作成日 年 月 日
氏名
本人との関係

このシートはご自身で治療方法を判断することが困難な場合に、ご自身の意思内容として、ご家族や医療・ケアチームにおいて最大限尊重いたします。なお、何回も書き直すことができます。

にいがた救急連携シート

1 もし、生きることができる時間が限られているとしたら、あなたにとって大切なことはどんなことですか？(複数回答可)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 家族や友人のそばにいること | <input type="checkbox"/> 少しでも長く生きること |
| <input type="checkbox"/> 仕事や社会的役割が続けられること | <input type="checkbox"/> 好きなことができること |
| <input type="checkbox"/> 身の回りのことが自分でできること | <input type="checkbox"/> ひとりの時間が保てること |
| <input type="checkbox"/> できる限りの治療が受けられること | <input type="checkbox"/> 自分が経済的に困らないこと |
| <input type="checkbox"/> 家族の負担にならないこと | <input type="checkbox"/> 家族が経済的に困らないこと |
| <input type="checkbox"/> 今はわからない | |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

2 もし、治らない病気になったり、気持ちを伝えられなくなったら、どこで、どんな治療やケアを受けてすごしたいですか？

- ① 痛みや苦痛について
- | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> できるだけおさえてほしい | <input type="checkbox"/> 自然のままでもいい | <input type="checkbox"/> 今はわからない |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |
- ② すごしたい場所
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自宅 | <input type="checkbox"/> 病院 | <input type="checkbox"/> 施設 | <input type="checkbox"/> 今はわからない |
| <input type="checkbox"/> その他() | | | |

3 もし、治療やケアについて、自分で決められなくなったら、代わりに誰に話しあってほしいですか？

- | | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 配偶者(夫・妻) | <input type="checkbox"/> 子ども・孫 | <input type="checkbox"/> きょうだい | <input type="checkbox"/> 親戚(姪・甥など) | <input type="checkbox"/> 友人・知人 |
| <input type="checkbox"/> かかりつけ医 | <input type="checkbox"/> 頼める人はいない | <input type="checkbox"/> その他() | | |

4 これらの選択を希望した思いや理由を書いてみましょう

このシートはご自身で治療方法を判断することが困難な場合に、ご自身の意思内容として、ご家族や医療・ケアチームにおいて最大限尊重いたします。なお、何回も書き直すことができます。

もしも

のときのことを 考えたことがありますか？



誰もが、いつ、命に関わる大きな病気やケガをするかわかりません。ですが、もしものときに受けたい医療や介護について、自分で考えたり、家族と話しあったことがある人は少ないようです。もしものときに慌てないよう、元気な時から、家族や大切な人と思いを共有しておくことは大切です。このシートをきっかけに、ご自身で、また、家族や友人、大切な人と考え、くらかえし話しあってみませんか？

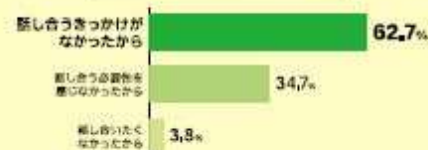
人生の最終段階における医療・ケアなどの話し合いについて

※調査対象は、希望する高齢者(令和2年9月) (家族が世帯主65歳以上4668人)

家族や医療介護関係者とのくらし話しあったことがあるか？



話し合ったことがない理由は？



もしものときに受けたい医療、受けたくない医療ってなんだらう？

考えたことないけど、ちょっと考えてみようかな……

最後まで自分らしい生き方をさせてあげたい。

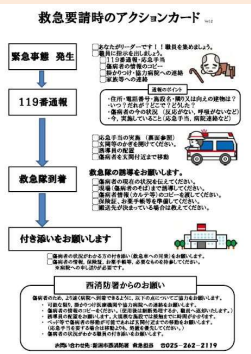
あなたと、あなたの大切な人のために話しあってみませんか？



作成/新潟市在宅医療・介護連携推進協議会 発行/新潟市保健衛生部地域医療推進課

にいがた救急連携シートの運用イメージ（令和3～4年度・西区）

特養・老健・ショートステイ
ケアマネジャー／地域包括支援センター



※施設では到着までの間、
「アクションカード」を活用して対応する。

消防局（指令管制センター）



①119要請
消防に対し、SWAN
ネット対象者であるこ
とを伝達する。
(患者のNoまたは氏
名・生年月日情報等)

②出動指示
指令管制センターは
救急隊に対し、SW
ANネット対象者で
あることを伝達す
る。(以下、①と同
じ)



救急隊

④到着・処置
救急隊が施設到着後、SW
ANネット情報を基に、施
設従事者等と詳細を共有
し、搬送候補先へ連絡。

⑤搬送確認
救急隊は、医療機関に対
し、SWANネット対象者
であることを伝達する(②
と同じ)

SWANネットQQ



③患者情報取得
救急隊員は、SWANネッ
トへアクセスし、患者情報
を取得する。

⑥患者情報取得
医療機関は、SWANネッ
トへアクセスし、患者情報
を取得する。

医療機関
(救急受入病院)



⑦患者受入れ

電話・無線

ネットワーク

行動



日時

①②のいずれか一方にお申込みください

①12月4日(土) 14:30～16:00 定員：会場80名+オンライン200名
講師：信楽園病院 脳神経内科部長(医師) 下畑 光輝 氏

②12月18日(土) 14:30～16:00 定員：会場80名+オンライン200名
講師：済生会新潟病院 外科部長(医師) 坪野 俊広 氏

会場

新潟市総合保健医療センター 2階 講堂(中央区紫竹山3-3-11)
※この講座は、講師が遠隔地から講義を行うオンライン講座です。
会場での受講のほか、自宅等からオンラインでの受講も可能です。

お申込み

受付期間 10月21日(木)～11月16日(火)

下記のURLか右のQRコードから「かんたん申込」でお申込みください。

<https://www.shinsei.eig-front.jp/niigata-city2/uketsuke/form.do?id=1632267934161>



オンライン受講に必要な「ログインIDとパスワード」は、開催2日前までにお申し込んだメールアドレスあてに発行いたします。IDとパスワードが届かない場合は、下記までご連絡願います。

◆会場にて受講→新潟市役所コールセンター025-243-4894でも申込可能です。
受付時間/8:00～21:00 土日祝も受け付けます。
必要事項/申込日時(上記①②のいずれか)・代表者氏名・参加人数・代表者電話番号

お問い合わせ

新潟市保健衛生部地域医療推進課 TEL:025-212-8018 E-mail:chiiki_iry@city.niigata.lg.jp

共催 新潟市保健衛生部地域医療推進課
在宅医療・介護連携ステーション西(済生会新潟病院)/在宅医療・介護連携ステーション西第二(信楽園病院)

医療・介護専門職（相談援助職）向け意思決定支援研修会

西区の医療・介護専門職対象

意思決定支援オンライン研修会

～住み慣れた場所で生活し続けることができる地域づくりに向けて～
プレセミナー＆4回シリーズ研修

高齢化が進むなか、必要な医療やケアを受けながら住み慣れた地域で暮らし続けたいという本人の希望をいかに叶えるかが重要となっています。近年、特に、高齢者の救急搬送の場面において、本人の意思確認が困難なために、本人の思いに反した医療が行われる可能性が指摘されています。

本市では、本人と家族、在宅医療・介護関係者、救急医療関係者間の情報共有をスムーズにする仕組みを考案し、令和3～4年度、西区でモデル運用します。

このたび、事業の一環として、国が策定した「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に基づくアドバンス・ケア・プランニングを実践できる人材の育成を目指した研修会を開催します。国ガイドライン策定メンバーである講師をお招きし、ガイドラインについての基本理解や、事例を通じた実践的な相談援助技術、意思決定支援について学んでいきます。


4割を超える新潟市民が、人生の最期を「自宅」で迎えたいと望んでいます。住み慣れた場所、いたいと思うところにいることができる地域づくりに向けて、ともに考えていきませんか。

	日時	会場	対象
プレセミナー	12月14日(火) 18:00～19:30	Zoomオンライン	西区で勤務する医療・介護の専門職どなたでも 【定員200名】
シリーズ研修 第1回	1月8日(土) 9:00～11:30	新潟市総合保健 医療センター講堂 (中央区紫竹山3-3-11) ハイブリット形式により、 講義やグループワーク、 ロールプレイ等の演習 を通して実践的に学び ます。	西区で勤務する 医療・介護の専門職 (相談援助職) 4回すべて受講可能な方 【定員24名】 ※シリーズ研修を受講さ れる方はプレセミナーも 参加してください。
第2回	2月19日(土) 9:00～11:30		
第3回	3月12日(土) 9:00～11:30		
第4回	4月16日(土) 9:00～11:30		

講師 田村里子さん (一社)WITH医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部

厚生労働省「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」策定メンバー。WITH医療福祉実践研究所では、グローバルな経験と視野をもとに人に誇ることのできる支援の高みを目指した様々なプログラムを計画、対人援助職の技術を多面的に支える活動を行っている。

→ 申込 以下URLか、QRコードから11月23日(火・祝)までお申込みください。
<https://www.shinsei.elg-front.jp/niigata-City2/uketsuke/form.do?id=1635137190527>
 ID・パスワードはお申し込みいただいたメールアドレスあてに発行します。



主催(お問い合わせ)

新潟市保健衛生部地域医療推進課 TEL : 025-212-8018 FAX : 025-246-5672
E-mail : chiiki.iryoo@city.niigata.lg.jp

参加
無料

R5以降 対象地域拡大

R4 対象者拡大

R2～R3 西区におけるモデル事業

- ・シート内容・運用方法等の検討
- ・相談援助職（専門職）意思決定支援研修会の開催
- ・ACP市民講座の開催
- ・にいがた救急連携シートの運用開始（西区特養・老健・ショートステイ）

R1 在宅医療・救急医療連携WGほか関係機関等との協議

- ・高齢者の救急搬送に関する課題の抽出
（救急医療機関・高齢者等入所施設・救急隊等関係機関との意見交換会の開催）
- ・先進事例や既存関連ツールの調査・把握
- ・シート内容・運用方法等の検討
- ・施設、救急医療機関、救急隊へのアンケート調査